

「X線 CT の照射線量表示に関する DITTA 会議における宣言書」について

JIRA は、昨年 12 月 1 日に米国シカゴで開催された DITTA¹⁾会議において、NEMA-MITA²⁾, COCIR³⁾と合意した「X線 CT の照射線量表示に関する宣言書」(添付)を HP に公開します。この宣言書は、米国で発生した X 線 CT 装置による過剰照射問題を契機として作成されたもので、照射線量低減の一環として照射線量管理の重要性をアピールするとともに、医療 IT ベンダの方々に放射線照射線量を統合管理するための画像データおよび付帯情報の交換規格のワークフロー・運用を定義した「IHE REM 統合プロファイル⁴⁾」に準拠したインターフェースを早期に製品に取り入れるようお願いする内容となっています。照射線量のレポートは患者の安全に関する重要なプロセスですが、これが医療現場で実行されるためには画像診断機器と医療 IT システムとの間で連携が必要となるためです。

(添付資料) DITTA 発宣言書 および その和訳

DITTA¹⁾ : International Congress of Diagnostic Imaging and Therapy Trade Association
(国際画像診断治療機器業界会議)

日本の JIRA, 米国の NEMA-MITA, 欧州の COCIR, カナダの MEDEC で構成される医療機器業界の会議。毎年 RSNA に合わせて定例会議を開催し、各国の規制に対し共同提案を行っている。

NEMA-MITA²⁾ : National Electrical Manufacturers Association -Medical Imaging and Technology Alliance (米国電気機器製造業者協会・医療画像技術連合)

COCIR³⁾ : European Coordination Committee of the Radiological Electromedical and Healthcare IT Industry (欧州放射線医療電子機器産業連合会)

IHE REM 統合プロファイル⁴⁾: IHE(Integrating the Healthcare Enterprise)では、放射線検査などのさまざまなケースにおいて、情報処理システムにおける標準規格の使い方を「統合プロファイル」としてまとめている。REM(Radiation Exposure Monitoring)統合プロファイルは、CT 装置などの放射線検査機器で照射線量および関連情報を PACS や RIS・HIS など総合的に扱う方法を定めている。照射線量を扱うデータ形式として、DICOM で規定されている SR(Structured Report)を採用している。

詳細については、日本 IHE 協会にお問い合わせください。

<http://www.ihe-j.org/contact/index.html>

本資料に関するお問い合わせ

社団法人 日本画像医療システム工業会 TEL: 03(3816)3450

事務局 岸見

産業戦略室 西村